

校長室から感じたままに No 1

4月より、七林小学校の校長に着任した大賀泰代と申します。

七林小学校の子供たちが学校大好き・友達大好き・先生大好きといえるような毎日を過ごせるようにしたいと思います。

七林小学校は、11日に入学してくる1年生66名を加え、413名で2023年をスタートします。

コロナウィルスの影響でここ何年かは例年とは違った形での学校生活を余儀なくされていましたが、今年は久しぶりに体育館で着任式、始業式を行いました。

やはり、全校が集まっての式というのは良いものです。子供たちは、休みが長く、きっと期待と不安の混じった気持ちで登校してきたのではないかと思います。そんな心配をよそに、どの子も新しい先生や友達との出会い、これから頑張るぞという思いがこもったきらきらした目をしていて嬉しくなりました。その思いを大切に、力を合わせて一人一人の心に寄り添える教育をしていきたいと思しますので、保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

ここでは、感じたこと、お知らせしたいこと、一緒に考えていきたいこと等を不定期ではありますが「校長室から感じたままに」という形で気軽に読んでいただけるかたちで発信していければと考えています。よろしくお願いいたします。

始業式の中で、子供たちに「少し頑張れば達成できそうな目標を立て、それに向かって努力をしよう」という話をしました。もちろん大きな目標も大事なのですが、少し頑張ればできることを目標にし、できることを積み重ねて達成感を味わってほしいと考えます。それが「僕は、私はできる」という自己肯定感となると同時に、達成感を味わうことが次への意欲につながると思います。ぜひご家庭でも新年度に目標を一緒に考え、小さなことから積み重ねてみてください。